

有峰の主な歴史

和暦(年)	西暦(年)	村名記述	事項
建武元	1334		木造狛犬(通称サル)吽形(うんぎょう)、一角をもつ
応永2	1395		月江応雲法川寺改め曹洞宗滝脇山大川寺開山
享徳元	1452		狛犬(通称シシ)一角をもつ阿、室町幕府8代足利義政代
◆有峰懸仏(かけぼとけ) 室町期末の作か？			
大永11	1531		狛犬(ヌエ)、戦国時代初期または種子島鉄砲伝来(1543)頃
天正12	1563		佐々成政、ザラ峠を越え、浜松の家康に救援請う。立山温泉入湯
文禄4	1595	宇連村	宇連村物成之事(地名宇連)物成:ものなり:長家文書
慶長3	1598	宇連村	検地状に記載
慶長10	1605		有峰村の草高120俵、戸数34戸 草高:くさだか
慶長13	1608		有峰村検地、先高120俵、出分142俵、計262俵の村高決定
慶長16年	1611	宝礼村	亀谷文書に記載
慶長19年	1614	有正村	長家文書に記載
元和2	1616	う運むらの之村	長家文書に記載
元和3	1617		有峰村一村挙げて逃散15戸となる。
元和4年	1618	う蓮村	長家文書に記載
寛永2年	1625	うれ村	長家文書に記載
慶長～寛永頃 水須(奥山)口留番所設ける。			
承応3	1654		篠島文右衛門持病平癒のため薬師如来(岳)に願文を捧げる。
寛文元	1661	有嶺村	以降「有嶺村うれい」長家文書に記載
延宝7	1676		有峰山6か所に鷹巢山を設置する。
元禄8	1695	有峯村・有峰村	以降「有峰」とした。有嶺(憂い)を訓読 長家文書に記載
享保16	1730		有峰村免1ツ5歩に減免さる。
享保18	1732		有峰村肝煎(彦三郎)より天正寺10村に従来の板商売を廃し、へき板として売り広めたいと申し出る。
宝暦13	1763		有峰村奥山見廻(年3回)請書提出。
明和3	1766		飛州・信濃人、越境討伐。有峰村に詫状入れる。
明和8	1771		亀谷川木呂(ころ)流し請山を有海根山
明和9	1772		有峰村肝煎助兵衛、天正寺伊三右衛門に批板の売り出し許可を願い出る、
寛政5	1793		天正寺十次郎より、わらび粉1石5斗の臨時用命があった有峰では3斗(約1/4)しか供出できないと陳述。
文化7	1810		有峰村に西本願寺瓦下萱棟板の注文くる。
文化12	1815		立山温泉湯道が、原村から開通。
天保4	1833		有峰村、翌年5ヵ所を伐採条件として、10村より米100石の借米を申し入れる。
天保5	1834		三室屋庄三郎、茶木屋吉兵衛、有峰村に20石を融通する。
天保6	1835		村人5人乞食行脚に出るが稗苗代に帰村する届提出。
天保7	1836		「有峰村控帳」によると、天保2年以降の伐木山銭の集計34両3歩とし、生活費の外上納銭とする。
天保8	1837		凶作、大飢饉のため有峰の戸数12戸となる。
天保10	1839		藩、有峰村を御仕立村に指定、稗作調査に改作奉行を派遣。
天保11	1840		有峰村支給食料「御やしなえ」の請取提出、米46石、稗62石、食塩12・6石、味噌90貫、野菜代18貫文支給される。

天保13	1842		10村杉木弥助「有峰登山記」記す。
弘化3	1846		有峰村彦右衛門、松葉の兩人、温泉番人を引き受ける。
弘化3	1846		立山下湯元六郎右衛門湯小屋、材木、道路補修材として有峰嶺山を15貫文で一作受ける。
嘉永4	1851		尾張島津牛頭天王社御師に初穂料3百文(2年分)納む。
嘉永6	1853		群役所の仕入れにより、有峰村で椗木地、傘口口の製法を導入する。
安政1	1854		有峰村の木地製品値段・販売について郡奉行より指示がある。
安政	1854		亀谷新道計画、新川郡奉行より出される。
安政3	1856		亀谷新道開削工事が上市村伊右衛門、中新村嘉太郎に落札工事着手、4年完成
安政5	1858		飛越大地震(2月26日)新川郡有峰大鷲、小鷲が崩壊する。立山下温泉崩壊す。大洪水(4月26日)
安政5	1858		有峰村与三兵衛、弥助、上滝村彦五郎より天正寺村十次郎へ嶺崎山見分報告する。
安政5	1858		天正寺村十次郎より見分の結果を新川御郡所と近隣十村に通報する。
慶応3	1867		王政復古、江戸幕府滅ぶ。
明治2	1869		英人アーネスト・サトウ立山温泉投宿。
明治9	1876		村内7戸の仮戸籍あり。(徴兵回避のためか)
明治11	1878		常願寺川奥山から流出する木柵流しの差止めをいたち川沿岸7か村から郡役所に請願。
明治12	1879		イギリス人、マーシャル、ダイヴァース、有峰を訪ねた最初の外国人
明治22	1889	大山村	町村制施行による
明治39	1906		就学免除地有峰と長棟に、上新川郡教育会「特殊教育所」設置。(大正9年1920迄)
明治44	1911		辻本満丸、小島烏水によって有峰紹介される。
大正10	1921		水源涵養林として、有峰山林を買収。有峰村廃村(船津3戸、大庄1戸、大沢野1戸、富山5戸移住)
昭和12	1937		有峰ダム建設のため千垣・粟巣野間鉄道敷設。
昭和13	1938		本宮駅よりダム猫巾迄軌道20km完成
昭和14	1939		有峰ダム第一次工事着手。(工事費4581万円)
昭和18	1943		ダム工事中止
昭和20	1945		薬師岳園谷、国天然記念物に指定
昭和30	1955	大山町	上滝町、大庄村、福沢村と合併
昭和31	1956		第二次有峰ダム工事再開。猪谷-土-大多和ルート開通
昭和32	1957		有峰総合調査実施。10月報告書「有峰を探る」刊行。
昭和34	1959		湛水開始。
昭和36	1961		有峰ダム完成
昭和37	1962		中河与一「天の夕顔」文学碑除幕。
昭和38	1963		薬師岳で愛知大山岳部13人遭難。地鉄バス(小見-折立間16km)夏季運行始まる。
昭和38	1963		有峰村民墓約500基湖岸西に移転。
昭和48	1973		有峰県立自然公園指定。(16000ha)
平成12	2000		有峰狍犬8体、松本市より大山町に贈呈される。
平成14	2002		有峰森林文化村開村
平成17	2005	富山市	富山市、大沢野町、婦中町、八尾町、山田村、細入村と合併

出典:前田英雄著:有峰の記憶(桂書房 2009)、長家文書、検地状、亀谷文書